

令和2年11月市議会総務委員会資料

第166号議案

令和2年度長崎市一般会計補正予算（第13号）

目次

1	災害対策活動費	・・・	1～2ページ
	（繰越明許費の補正）	・・・	3ページ
2	【単独】防災行政無線整備事業費		
	防災行政無線デジタル化		
	（繰越明許費の補正）	・・・	4～5ページ
3	【単独】避難所整備事業費		
	拠点避難所		
	（繰越明許費の補正）	・・・	6～7ページ

防災危機管理室

令和2年11月



予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
44~45	9 消防費	1 消防費	4 災害対策費	1-1	災害対策活動費	千円 19,603

1 概 要

国の補正予算に伴う新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、災害時における避難所運営等に係る新型コロナウイルス感染症対策として、指定避難所に配備する資器材を購入するもの。

2 事業内容

項目	数量	備考	事業費
(1)サーモグラフィー	25台	指定避難所のうち25箇所	2,195千円
(2)ワンタッチパーテーション	265個	指定避難所全265箇所×1個	8,075千円
(3)ジョイントマット	18,000枚	6,000人分(1人当たり3枚使用)	8,563千円
(4)バケツ	1,060個	指定避難所全265箇所×4個	770千円
合 計			19,603千円

3 財源内訳

区分	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金 ※1	県支出金	地方債	その他 ※2	一般財源
予算現額	千円 69,469	千円 —	千円 —	千円 —	千円 658	千円 68,811
11月補正	千円 19,603	千円 19,603	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —
補正後	千円 89,072	千円 19,603	千円 —	千円 —	千円 658	千円 68,811

※1 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

※2 防災体制整備基金繰入金:650千円、雇用保険料個人負担金:8千円

4 資器材一覧

NO	品名	規格（仕様）	写真 (購入する資器材イメージ)
1	サーモグラフィー	(1) 自撮り式 (2) 温度検知の誤差±0.3度以内 (3) 異常検知時は音声で知らせる	
2	ワンタッチ パーテーション	(1) サイズ ア 幅 2.1m イ 奥行 2.1m ウ 高さ 1.8m (2) 材質 ナイロン(抗菌加工処理)	
3	ジョイントマット	(1) サイズ 60 cm × 60 cm (2) 材質 ポリエチレン	
4	バケツ	(1) 容量 15リットル	

9款 消防費 1項 消防費 4目 災害対策費

(単位:千円)

事業名	金額		財源内訳			
			国庫支出金 ※1	地方債	その他 ※2	一般財源
災害対策活動費	予算現額	89,072	19,603	—	658	68,811
	支出予定額	69,469	—	—	658	68,811
	繰越明許額	19,603	19,603	—	—	—

※1 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

※2 防災体制整備基金繰入金:650千円、雇用保険料個人負担金:8千円

1 繰越の理由

災害対策活動費において、指定避難所に配備する資器材を購入するにあたり、年度内に事業が完了しない見込みであるため当該経費を繰り越すもの。

予算説明書【繰越明許費】					事業名	繰越明許費
ページ	款	項	目	番号		
74~75	9 消防費	1 消防費	4 災害対策費	—	【単独】防災行政無線整備事業費 防災行政無線デジタル化	千円 237,306

1 概要

防災行政無線のデジタル化は、平成28年度から令和2年度までを事業期間として実施しているが、令和2年度は撤去工事と併せ、音達の調整が必要な地域のアナログ方式無線設備をデジタル方式へ更新するもの。

2 事業内容

(単位：千円)

内容		予算現額	支出済額	繰越明許額
整備工事	デジタル化整備工事	443,394	206,088	237,306
	屋外拡声子局撤去・更新工事		—	
	親局等撤去工事		—	
計		443,394	206,088	237,306

3 繰越の理由

事業計画によりデジタル化更新整備が令和2年5月に完了したことに伴い、既設のアナログ方式無線設備の撤去工事に着手する予定であったが、撤去することで、その地域への音達が十分でなくなる恐れが生じたため、改めて現地調査を行い、撤去の精査及び追加整備の要否の検討を行うなど不測の日数を要したことから、既に支出している額以外については、事業が年度内に完了しない見込みであるため繰り越すもの。

4 財源内訳

金額		財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債 ※	一般財源
	千円	千円	千円	千円	千円
予算現額	443,394	—	—	443,300	94
支出済額	206,088	—	—	206,000	88
繰越明許額	237,306	—	—	237,300	6

※ 緊急防災・減災事業債 充当率：100%（交付税措置率70%）

防災行政無線デジタル化整備スケジュール

	30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
デジタル化 整備工事	<p>配信局整備</p> <p>【主配信局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎（消防局） <p>【副配信局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香焼地域センター ・三和地域センター ・高島地域センター ・野母崎地域センター ・伊王島地域センター ・外海地域センター ・琴海地域センター 			
	<p>送信局整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帆場岳（現川町） ・八郎岳（千々町） ・県民の森（琴海戸根町） ・樺島（野母崎樺島町） 			
	<p>屋外拡声子局 整備工事</p> <p>462 箇所（新設 6・建 替 49・既設利用 407）</p>			
	<p>屋外拡声子 局ポール 設置工事 (55 箇所)</p>			
屋外拡声 子局撤去・ 更新工事				<p>屋外拡声子局 撤去・更新工事</p>
親局等 撤去工事				<p>親局・中継局・戸別 受信機等撤去工事</p>

予算説明書【繰越明許費】					事業名	繰越明許費
ページ	款	項	目	番号		
74~75	9 消防費	1 消防費	4 災害対策費	—	【単独】避難所整備事業費 拠点避難所	千円 285,520

1 概要

熊本地震等の大規模災害の際には、自宅が倒壊するなどし、多くの避難者が公営住宅や仮設住宅等に入居するまでの長期間、慣れない環境での避難所生活を強いられ、避難環境の改善が課題となった。このため、その対策として、避難者の健康面や衛生面などに配慮し、長期の避難所生活に対応できるよう環境・設備を備えた拠点避難所を整備するもの。

2 事業内容

(単位：千円)

内 容	予算現額	支出済額	繰越明許額
シャワー整備工事	31,609	—	285,520
多目的トイレ整備工事	40,161	—	
ガラス等整備工事	140,600	—	
収納庫整備工事	73,150	—	
計	285,520	—	285,520

3 繰越の理由

新型コロナウイルスの感染拡大により、地域の関係者などとの協議に不測の日数を要したことから、事業が年度内に完了しない見込みであるため繰り越すもの。

4 財源内訳

金 額		財 源 内 訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債 ※	一般財源
	千円	千円	千円	千円	千円
予算現額	285,520	—	—	285,500	20
支出済額	—	—	—	—	—
繰越明許額	285,520	—	—	285,500	20

※ 緊急防災・減災事業債 充当率：100%（交付税措置率70%）

拠点避難所整備工事スケジュール

年度	R1	R2	R3
シャワー工事		設置場所調整・設計	工事③ (7か所)
空調工事	工事① (1か所)		
多目的トイレ工事		設置場所調整・設計	工事③ (6か所)
ガラス等整備工事	工事① (14か所) (飛散防止フィルム)	工事② (8か所) (強化ガラス+飛散防止フィルム)	工事③ (14か所)
収納庫工事	改修場所の精査 設置場所調整・設計	工事② (6か所)	工事③ (16か所)